

ティーチング・ポートフォリオ

大学名：大手前短期大学 所属：歯科衛生学科 名前：泉野 裕美 作成日：2024年12月24日

1. 教育の責任

歯科衛生に関する専門知識と豊かな教養を修めることにより、解決すべき課題を的確に把握して解決策を模索し、その実現のために協働できる、意欲的で活動的な歯科衛生の専門職を育成する。

2. 教育の理念

本学の理念である「実社会に即した豊かな教養に基づく実務教育を通じて、学生一人ひとりが自らの目的を見つけ、その目的に向けての目標を定め実現させる力を育成する」に基づき、卒業後も生涯にわたって能動的に学び続ける人材を輩出することを目的とする。さらに、歯科衛生の専門職として地域社会や国際社会に貢献できるような人材を育成することに努力したい。

3. 教育の方法

◇担当科目

歯科診療補助Ⅰ、歯科診療補助Ⅲ

◇教育の目的と目標

授業の中では、「基礎的な知識を修得する」「他者と協同し実践する」「自己評価および他者評価を行う」というように学生を導くことで、よりスムーズに歯科診療補助業務の基盤となる知識と技術の習得や問題解決能力を獲得することを目指している。

◇教育実践

①教育（授業、実習）の創意工夫

- ・事前課題として授業資料を配布して、教員の話や聞くという受動的学習の時間はできるだけ短くする工夫をしている。
- ・実習を行う・自分で調べる・学生同士で評価し合うといった能動的活動の時間を長く取るようにしている。
- ・実技指導の際はモニターを活用したデモンストレーションを行っている。

②学生の理解度の把握

- ・実技の際はその都度セルフチェックシートを提出してもらい理解度を測っている。
- ・個々の学生のレポートには適切なコメントやアドバイス等を記載して返却している。

③質問への対応等

実技の際は複数の教員が巡回して個別指導や質問への対応を行っている。授業時間外ではメールで対応している。

4. 教育の成果

前任校では学生アンケート 5段階で 4.2～4.8 の評価を得ており、「よく理解できた」「前向きに取り組めた」などの自由記載があり、おおむね良好であると考えている。

5. 改善への努力と今後の目標

・ICT の教育への活用

el-Canpus での動画の配信や授業資料の配布等、学生が授業時間外も自学自習できる機会を増やしたい。

【添付資料】

なし